

財務諸表に対する注記事項

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の有価証券は、取得価額を帳簿価額とする。

その他の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	235,000,000	-	-	235,000,000
定期預金	-	20,000,000	20,000,000	-
小計	235,000,000	20,000,000	20,000,000	235,000,000
特定資産				
投資有価証券	1,728,000,000	-	85,200,000	1,642,800,000
事業積立資産	2,100,000	500,000	-	2,600,000
法人運営積立資産	3,200,000	-	-	3,200,000
小計	1,733,300,000	500,000	85,200,000	1,648,600,000
合計	1,968,300,000	20,500,000	105,200,000	1,883,600,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対 する額)
基本財産				
投資有価証券	235,000,000	(235,000,000)	-	-
小計	235,000,000	(235,000,000)	-	-
特定資産				
投資有価証券	1,642,800,000	(1,642,800,000)	-	-
事業積立資産	2,600,000	(2,600,000)	-	-
法人運営積立資産	3,200,000	(3,200,000)	-	-
小計	1,648,600,000	(1,648,600,000)	-	-
合計	1,883,600,000	(1,883,600,000)	-	-

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
第122回国債	30,000,000	34,125,000	4,125,000
ダイワ #12296	10,000,000	10,094,000	94,000
第3回MS&AD社債	6,000,000	6,061,800	61,800
第3回劣後ローン日本生命社債	20,000,000	19,980,000	△ 20,000
第56回ソフトバンクグループ(株)無担保社債	4,000,000	3,942,800	△ 57,200
第15回三菱UFJ社債	45,000,000	44,914,500	△ 85,500
ダイワ #26673	100,000,000	97,810,000	△ 2,190,000
三菱HCキャピタル	20,000,000	19,848,000	△ 152,000
合計	235,000,000	74,203,600	4,203,600

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息への振替額	3,301,151
特定資産受取配当金への振替額	17,100,000
特定資産受取利息への振替額	81
受取寄付金への振替額	-
合計	20,401,232